

長工野球部 OB 会総会によせて

名古屋支部 本村広喜／堀川隆夫

第7回総会／懇親会開催にあたり一言お祝い申し上げます。

長工野球部の復活を熱く願う皆様と想いを同じくする名古屋支部の両名は事務局山内君のご連絡により、昨年4月に50年ぶりの再会が出来ました。昭和40年3月に卒業以来、奇跡的とも言える再会でした。18才の時の顔しか覚えていない二人が初老化して大変身し、待ち合わせ場所で当事者を見つけるのは半信半疑状態でした。

本村か？堀川か？と声を掛け合い50年ぶりの感激の再会でした。以来、2～3ヶ月に1回のペースで飲み、語り合っています。

苦しい練習を共にしてきた球友との再会をアレンジしてくれた山内君に感謝するとともにこの喜びは筆舌に表せないものです。二人の話題は当時、頑張った思い出とか長工野球部の復活策とか、二人が名古屋に流れつき苦労した半生等々で話は尽きません。

会っている時は二人とも若かりし頃に帰って不思議なものです。

さて余談はさておき、OBの皆様それぞれに思い出があり、共通の願いは長工野球部の悲願である甲子園初出場でしょう。野球部選手諸君が真剣に野球に取り組み、成果をあげるためにはOB会の暖かい支援と適切なアドバイスが必要だと思います。

我々が出来なかった甲子園出場を後輩に望む事は、後輩にとって重荷になってはいけません。不可能な事ではないと思います。後輩がいかに自身の事と捉え、チームとして昇華せしめる不断の努力を続ける事が大切ではないかと思えます。

OB会としてどのようなあり方が長工野球部選手諸君にとって望ましいのか模索していく事も必要かもしれません。この総会と懇親会がOB諸氏の旧交を温める場であると同時に長工野球部の復活を語り合う場になるよう願ってやみません。

出席出来ぬ我々も皆様と同じ願いです。本会が盛会裏に開催される事を願いお祝いの言葉とします。

平成28年4月23日